



# 株式会社オウケイウェイヴ

## 第25期第2四半期 決算説明会

2024年2月13日作成  
代表取締役社長 杉浦元

### 【約束とお願い】

- ・ 本説明会は記録のため、録画をしております。  
録画データを広く公開する予定はございませんが、あらかじめご了承ください。
- ・ 公序良俗に反する発言、行動等をお見受けした場合には、  
本会場から退出をしていただくことがあります。
- ・ 発言時以外はミュートをお願いいたします。
- ・ 画面はON/OFFどちらでも結構です。
- ・ ご質問は随時、チャットからでもお受けいたします。



# 目次

- 01** 2024年6月期第2四半期決算について
- 02** 事業状況について
- 03** 内部管理体制強化の改善状況について
- 04** Q&A (Oshiete Kotaeru)

# 2024年6月期2Q（第25期） 決算状況まとめ



## ■ 連結子会社OBCの株式譲渡が完了

- 2023年11月30日付で株式譲渡済み
- 当2Qより連結除外

## ■ BS（貸借対照表）の資産の部について

- 当2Q末現預金残高 355百万円

## ■ BSの負債・純資産の部について

- 当2Q末純資産残高 233百万円
- 借入金すべて返済完了

## ■ PL（損益計算書）について

- 売上高は前2Q比微増。減少傾向にあった広告売上が持ち直し。DAVIAの売上減少をGRATICAの売上増により補う。
- 従業員の減少による人件費の減少、前1Qまで発生していた旧オフィスの家賃の二重計上の解消等により、前2Q比で大幅にコストを圧縮。
- ファイナンス費用や訴訟関連の弁護士費用などの営業外費用が発生したものの、OBCの株式譲渡が完了し、懸念事項を解消してきている。

# 連結BS (資産)

(単位：千円)	FY2023/6	FY2024/6	増減
	期末	2Q	
<b>流動資産</b>	<b>675,289</b>	<b>429,816</b>	<b>-245,472</b>
(主な増減項目)			
現金及び預金	155,662	355,218	+199,555
未収入金	407,265	-	-407,265
<b>固定資産</b>	<b>1,069,174</b>	<b>1,066,190</b>	<b>-2,983</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,069,174</b>	<b>1,066,190</b>	<b>-2,983</b>
(主な増減項目)			
差入保証金	9,312	6,498	-2,814
<b>資産合計</b>	<b>1,744,463</b>	<b>1,496,006</b>	<b>-248,456</b>

## ■ 流動資産

### ・現金及び預金

営業活動によるキャッシュ・フロー：△285百万円

投資活動によるキャッシュ・フロー：△1百万円

財務活動によるキャッシュ・フロー：486百万円

### ・未収入金

株主割当の新株予約権6月行使分が当社に入金されたことによる減少

## ■ 固定資産

### ・差入保証金

連結子会社OBCの株式譲渡に伴う連結除外の影響

# 連結BS（負債・純資産）

(単位：千円)	FY2023/6	FY2024/6	
	期末	2Q	増減
<b>流動負債</b>	<b>1,843,026</b>	<b>1,262,337</b>	<b>-580,688</b>
(主な増減項目)			
短期借入金	460,000	-	-450,000
未払金及び未払費用	336,325	233,518	-102,807
未払法人税等	10,643	474	-10,168
<b>負債合計</b>	<b>1,843,026</b>	<b>1,262,337</b>	<b>-580,689</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>-71,146</b>	<b>248,203</b>	<b>+319,350</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>-27,416</b>	<b>-30,345</b>	<b>-2,929</b>
<b>新株予約権</b>	<b>-</b>	<b>15,811</b>	<b>+15,811</b>
<b>純資産合計</b>	<b>-98,562</b>	<b>233,669</b>	<b>+332,231</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,744,463</b>	<b>1,496,006</b>	<b>-248,456</b>

## ■ 流動資産

- ・短期借入金
  - 返済による減少270百万円
  - DESによる減少190百万円
- ・未払金及び未払費用等
  - 借入金の返済・DESによる未払利息の減少の他、連結子会社OBCの株式譲渡による連結除外の影響等
- ・未払法人税等
  - 納税による減少

## ■ 純資産

- ・株主資本
  - 7月以降の新株予約権の払込による増資350百万円
  - DESによる増資191百万円
  - 当期純損失△222百万円による変動
- ・新株予約権
  - 当社役職員に対するストックオプションの発行による増加

# 連結PL (累計期間)

(単位：千円)	FY2023/6	FY2024/6	増減
	2Q	2Q	
売上高	73,489	79,081	+5,592
売上原価	214,629	82,427	-132,202
<b>売上総利益</b>	<b>-141,140</b>	<b>-3,345</b>	<b>+137,795</b>
販管費	304,066	163,208	-140,857
<b>営業利益</b>	<b>-445,207</b>	<b>-166,554</b>	<b>+278,652</b>
営業外収益	8,696	2,906	-5,789
営業外費用	49,293	85,687	+36,394
<b>経常利益</b>	<b>-485,804</b>	<b>-249,335</b>	<b>+236,468</b>
特別利益	60,523	27,510	-33,012
特別損失	357,022	-	-357,022
<b>四半期純利益</b>	<b>-765,942</b>	<b>-222,419</b>	<b>+543,523</b>
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>-765,396</b>	<b>-222,419</b>	<b>+542,976</b>

## ■ 売上高

連結子会社の縮小によるDAVIAの売上が減少したものの、OKWのGRATICAの売上増加により、前2Q比微増での着地

## ■ 売上原価

OKWにおける従業員退職に伴う人件費減少のほか、当1Qより連結子会社における事業縮小の影響等

## ■ 販管費

OKWにおける人件費等減少のほか、当1Qより連結子会社におけるコスト圧縮の影響  
前1Qまでは旧オフィス賃料と現オフィス賃料が二重で計上されていたほか、OK FUNDの運営費用も計上されていた影響

## ■ 営業外収益

為替差益の減少等

## ■ 営業外費用

ファイナンス関連のFA費用や訴訟関連の支払報酬や株主対応の臨時費用が発生したことによる増加

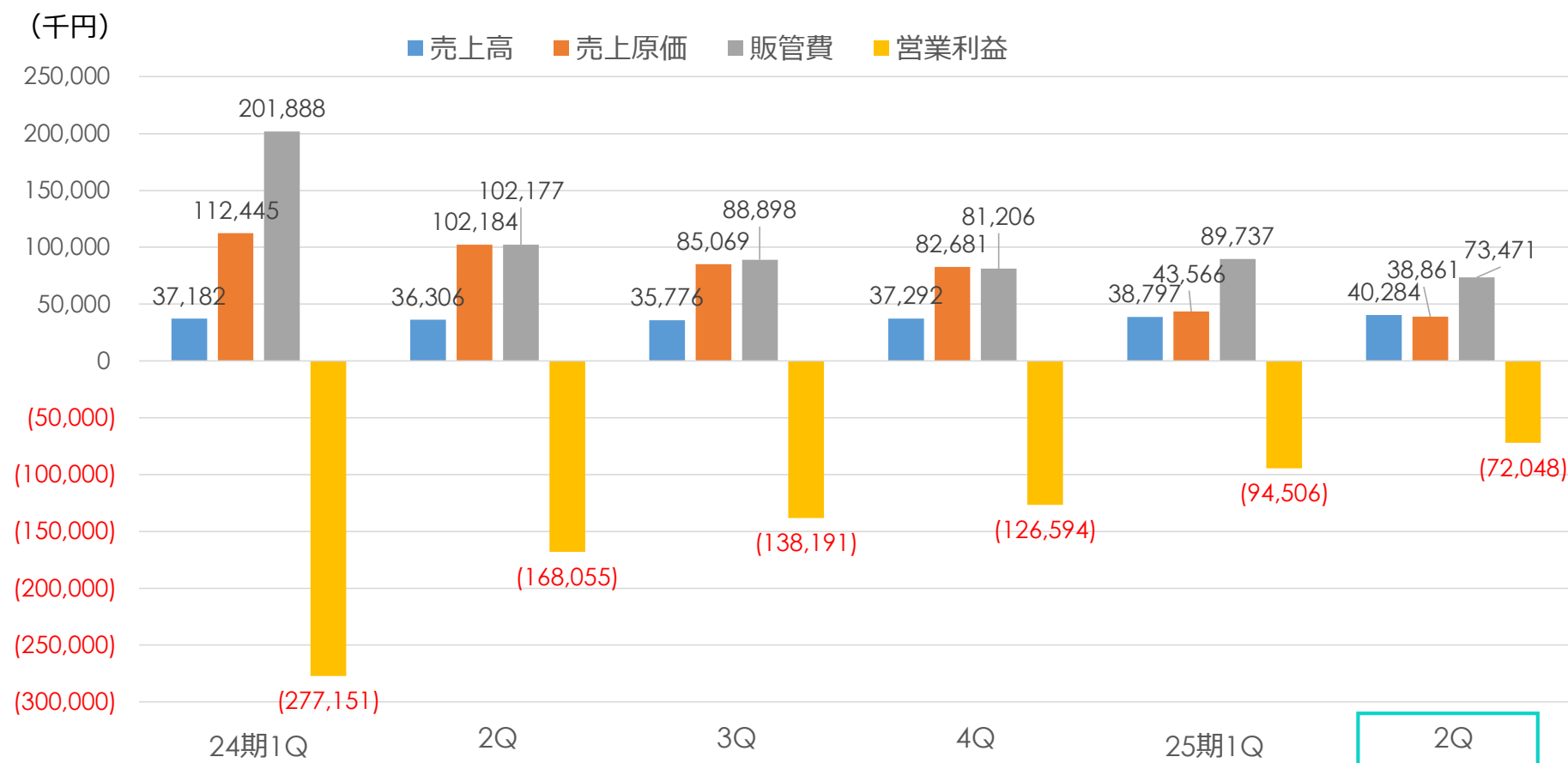
## ■ 特別利益

当2Qは連結子会社OBCの株式譲渡益が発生  
前2Qはオフィス移転時の資産除去債務の取り崩し及び第三者委員会の保険金の受取が発生

## ■ 特別損失

前2Qはアップライツにかかる投資有価証券評価損309百万円、特別調査費用の引当金の追加計上31百万円等が発生

# 業績推移 (24期~25期)



売上高は微増も、コスト削減効果により損益状況は改善傾向



## 目次

- 01 2023年6月期（当期）決算内容について
- 02 当期の事業状況について
- 03 内部管理体制強化の改善状況について
- 04 Q&A（Oshiete Kotaeru）



# サービス紹介



互助力を高める

サービス  
ソリューション

で

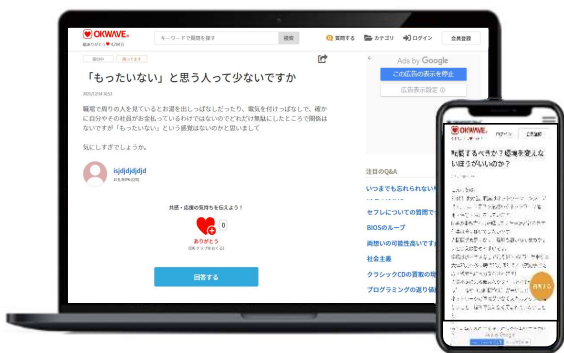
コミュニティ内の関係性  
組織の労働生産性

UP

助け合いの心でつながるQ&Aサービス



個人向け



Q&A形式で互助のコミュニケーションを作り出す

サポートシェアリングソリューション



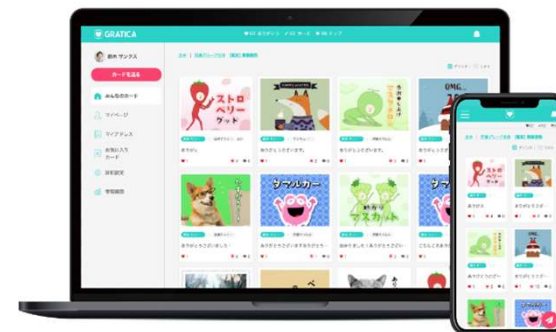
法人向け



クラウドサンクスカード



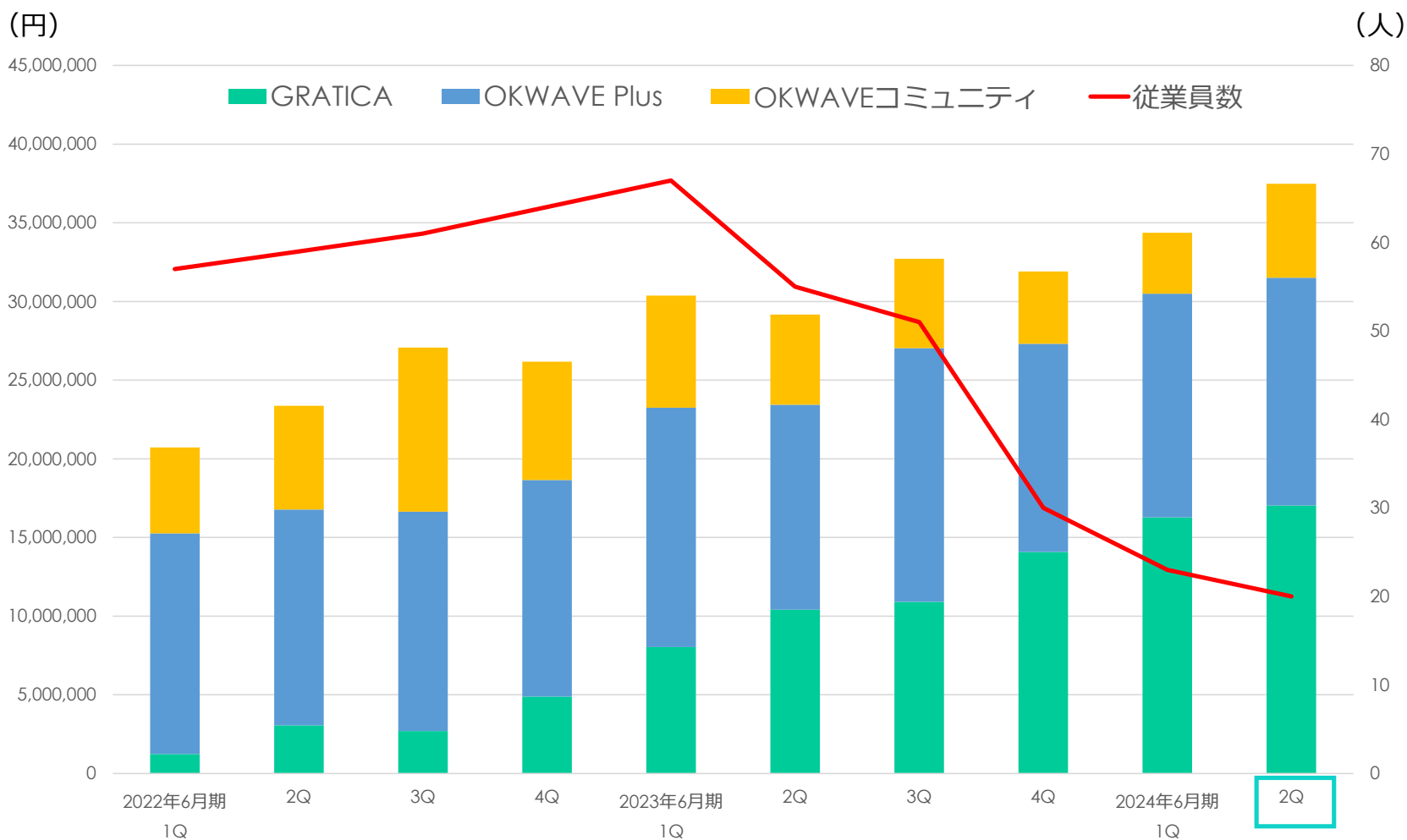
法人向け



見える「ありがとう」の交換で互助の絆や関係性を生む

世界中の“ありがとう”の物語を蓄積し可視化する

# サービス別売上推移 (23期~25期)



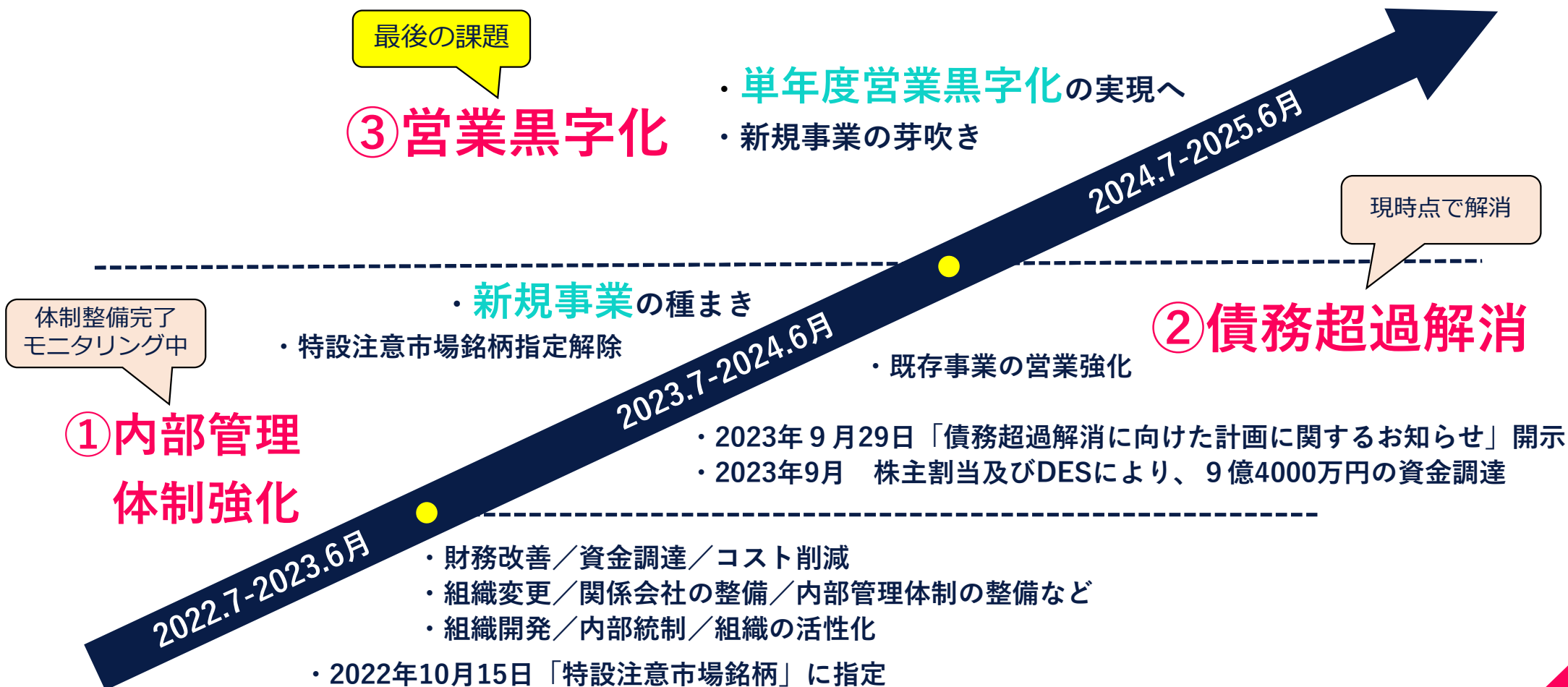
**業績予想に対する売上高の進捗率は33%。  
B向けは微増ながら増収維持し、広告費は持ち直す。**



## 目次

- 01 2023年6月期（当期）決算内容について
- 02 当期の事業状況について
- 03 内部管理体制強化の改善状況について
- 04 Q&A（Oshiete Kotaeru）

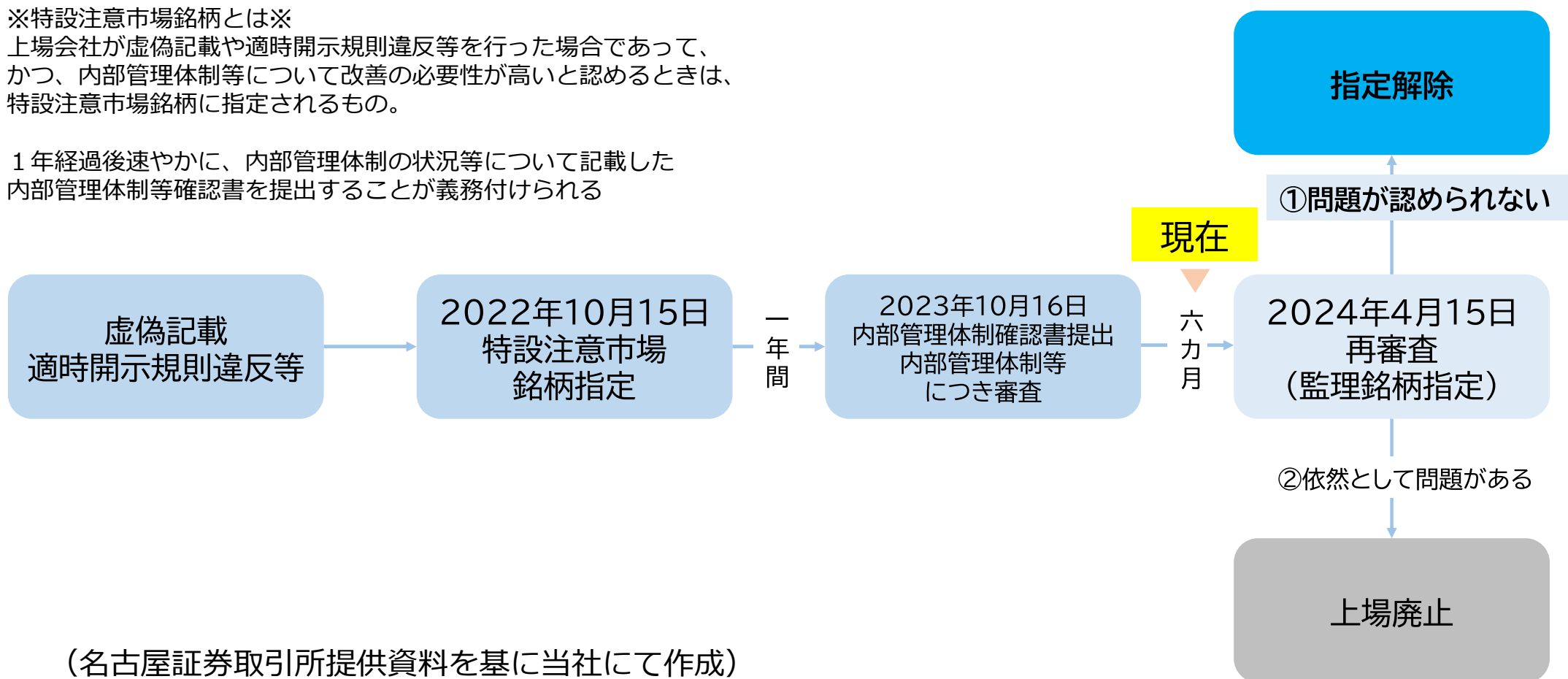
# 経営再建に向けたプロセス



# 特設注意市場銘柄の指定解除に向けた取り組み

※特設注意市場銘柄とは※  
 上場会社が虚偽記載や適時開示規則違反等を行った場合であって、かつ、内部管理体制等について改善の必要性が高いと認めるときは、特設注意市場銘柄に指定されるもの。

1年経過後速やかに、内部管理体制の状況等について記載した内部管理体制等確認書を提出することが義務付けられる



(名古屋証券取引所提供資料を基に当社にて作成)



本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの見込みは、現在の想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。